

はやね はやおき 朝ごはん テレビをとめて外遊び



三角帆

<みんなのめあて> ～ がんばる・考える・思いやる ～

平成29年度
別海町立野付小学校
学校だより No.6
平成29年8月31日
発行責任者
校長 山本 尋子

よい生活習慣を身に付けよう

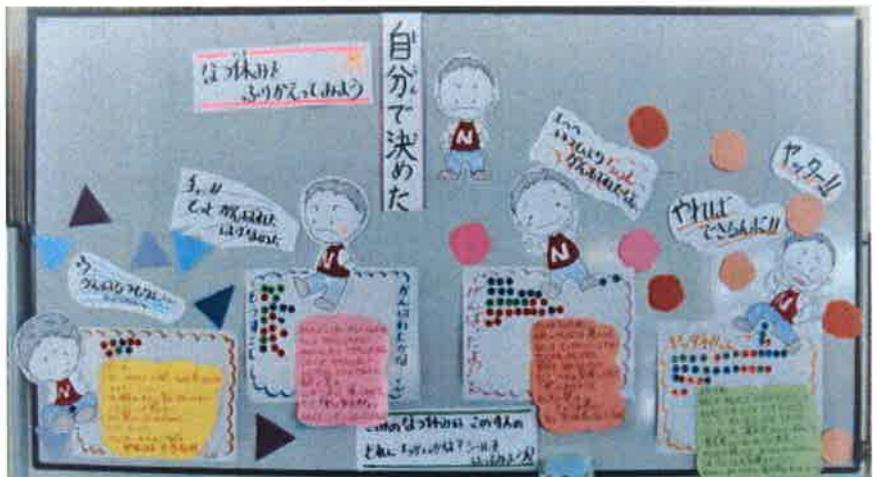
8月21日、26日間の夏休みが終わり、子ども達が元気に登校してきました。しばらくぶりに校舎いっぱい元気な子ども達の声が響き、私たち職員もこれから始まる2学期に向け気持ちを新たにしました。

さて、始業式では子ども達にどんな夏休みだったかを振り返り、ホワイトボードにシールを張って、それぞれ自分なりに夏休みを評価してもらいました。写真がその結果です。そこで、それぞれの子ども達に向け応援メッセージを届けました。どんなところからでも、スタートできるよ。振り返った時の気持ちを大事にして、前へ進もうという内容です。始まったばかりの2学期、前向きな気持ちで2学期頑張ってもらいたいと思います。

さて、始業式に子ども達に話したことがもう一つあります。

それは、「よい生活習慣を身に付けよう」ということです。

学習の準備の仕方、用意するものなど、学習に向かう姿勢や態度、家庭での生活リズムや、家庭学習など一度自分の習慣にしてしまうことで、とても楽しく生活することができます。例えば、学校で授業が終わったら次の授業の用意をして遊びに行く、これが習慣になったら遊んで帰ってきて慌てなくても気持ちよく授業を始められる。また、お家で家庭学習が終わったら、すぐ次の日の準備をしておく、これが習慣になると忘れ物がなくなる。また、準備するものに気づくこともできます。自分の生活の中で、まず何か一ついい習慣を身に付けて、気持ちよく過ごせるように頑張ってみようとお話しました。どんな習慣に取り組むかは、一人一人違っていい、自分に必要な事としました。自分で自分の生活に必要な良い習慣って何だろうと、考えることもまた大事なことです。



これらのことは、子ども達が大人になった時に本当に力になる経験だと思います。大人になり、それぞれ自分の仕事に合った生活リズムを整え健康な生活を維持することが必要になった時、睡眠時間や食事のコントロールを自分でしなければなりません。また、仕事をするうえで、自分自身で学ばなければならないことを、自分で見つけ学びを進めていかなければなりません。そういう時、子どもの頃自分の生活を整えるために頑張った経験がものをいうことになります。まだ、子どもだから、小さいから、小学生だから・・・ではなく、今できることを小さなことから取り組ませ、その必要感と達成感を味わい、頑張ることの良さを感じることでできる子ども達を育てていきたいと思っています。

校長 山本 尋子